

**芦屋市就学前児童（0～5歳）
将来人口推計報告書**

小学校区別の将来人口推計編

南芦屋浜地区の将来人口推計編

平成25年3月

芦 屋 市

はじめに

平成 24 年 8 月に子ども・子育て関連三法が成立し、平成 27 年度から子ども・子育て支援新制度が始まろうとしています。

新制度では、全てのこどもたちが良好な環境で育っていくことを目標とした上で、児童人口がどのように推移していくかを踏まえて、これからの幼稚園、保育所の配置等子育て支援のあり方を考えていかなければなりません。

このたび、新たに策定する子ども・子育て支援事業計画の基礎資料となる児童人口推計を、南芦屋浜地区の中長期的な開発も見込んだ上で算出し、あわせて保育需要の試算を行いましたので、ここに報告いたします。

小学校区別の将来人口推計編

目 次

1. 小学校区の区分	1
2. 幼稚園・保育所の現状と利用者数の把握	2
1) 幼稚園の利用状況	2
2) 保育所・保育園の利用状況	2
3. 目標年（平成27年及び平成32年）の小学校区別男女別1歳刻み人口推計	3
1) 前提条件	3
2) 推計方法	3
3) 定数の設定	5
4) 就学前児童数の将来推計結果	5
4. 目標年の小学校区別保育所のニーズ量の推計	7
5. 地域別の幼稚園・保育所の適正配置の検討	9
6. 小学校区別将来人口推計結果	9
1) 山手小学校区	10
2) 岩園小学校区	12
3) 朝日ヶ丘小学校区	14
4) 精道小学校区	16
5) 宮川小学校区	18
6) 打出浜小学校区	20
7) 浜風小学校区	22
8) シーサイド地区（潮見小学校区）	24
9) 南芦屋浜地区（潮見小学校区）	26
10) 芦屋市全体	28

1. 小学校区の区分

芦屋市の小学校区を構成する町は下記の通りであるが、今回の推計に当たっては、調整区域の中でも岩園小学校への進学率が比較的高い「大原町」は山手小学校区ではなく、岩園小学校区に含めて推計する。また、潮見小学校区は、地区ごとの状況が異なるため、シーサイド地区と南芦屋浜地区（今後住宅開発が予定されている）に区分する。

表 平成 24 年度の小学校区と町名の設定

小学校	区域(町名)
精道	茶屋之町、大榎町、公光町、川西町、津知町、竹園町、精道町、浜芦屋町、平田北町、伊勢町、松浜町、平田町
宮川	打出小槌町、宮塚町、若宮町、宮川町、浜町、西蔵町、呉川町
打出浜	春日町、打出町、南宮町、大東町
山手	劔谷、奥山、奥池町、奥池南町、山手町、山芦屋町、東芦屋町、西山町、三条町、船戸町、松ノ内町、月若町、西芦屋町、三条南町、上宮川町、業平町、前田町、清水町
岩園	六麓荘町、岩園町、翠ヶ丘町、親王塚町、楠町、(大原町)
朝日ヶ丘	朝日ヶ丘町、東山町
潮見	シーサイド地区: 若葉町、緑町、潮見町
	南芦屋浜地区: 陽光町、海洋町、南浜町、涼風町
浜風	新浜町、浜風町、高浜町



2. 幼稚園・保育所の現状と利用者数の把握

1) 幼稚園の利用状況

市内には市立私立を合わせて13の幼稚園があり、定員は2,120人であり、入園児童数は1,361人である。入園率は市全体では64.2%であるが、市立幼稚園は31~83%と私立幼稚園より低い。

表 幼稚園の利用状況

	幼稚園名	所在地	定員(3~5歳)	入園児童数	入所率(%)
市立	精道幼稚園	川西町11番10号	175	64	36.6
	宮川幼稚園	浜町1番20号	210	174	82.9
	岩園幼稚園	岩園町24番3号	140	94	67.1
	小槌幼稚園	打出小槌町15番7号	175	131	74.9
	朝日ヶ丘幼稚園	朝日ヶ丘町10番3号	210	71	33.8
	西山幼稚園	西山町22番15号	140	91	65.0
	伊勢幼稚園	伊勢町13番14号	210	89	42.4
	潮見幼稚園	潮見町1番3号	175	89	50.9
	浜風幼稚園	浜風町1番2号	175	55	31.4
私立幼稚園(4園合計)			510	503	98.6
合 計			2,120	1,361	64.2

※市立幼稚園は平成25年2月1日現在

※私立幼稚園は平成24年5月1日現在報告(他市の利用者を含む)

2) 保育所・保育園の利用状況

市内には市立私立を合わせて13の保育所・保育園があるが、南芦屋浜地区には保育所・保育園はない。保育所・保育園の利用状況(平成25年2月1日現在)は、定員846人に対して951人が入所しているが、市全体では310人の待機児童が発生している。入所児童と待機児童の合計は、1,261人で、当該年齢別人口に対して24.5%の保育需要がある。

表 保育所・保育園の現状

小学校区	種別	保育所	①定員(人)	②入所児童(人)	③待機児童(人)	④要保育児童数(人)(②+③)	⑤0~5歳児(人)	⑥保育需要率(%) (④/⑤)
1. 山手	私立	山手夢保育園	120	147				
	私立	運美幼児学園芦屋川ナーサリー	30	30			900	
2. 岩園	市立	岩園保育所	60	66			859	
3. 朝日ヶ丘	私立	あゆみ保育園	21	26			493	
4. 精道	市立	精道保育所	90	99				
	私立	さくら保育園	45	55			717	
5. 宮川	市立	打出保育所	90	99				
	私立	芦屋こばと保育園	30	35			653	
6. 打出浜	私立	夢咲保育園	60	73			627	
	市立	大東保育所	60	66				
7. 浜風	市立	新浜保育所	100	103				
	私立	浜風夢保育園	60	65			266	
8. シーサイド	市立	緑保育所	80	87			207	
9. 南芦屋浜		無					423	
合計			846	951	310	1,261	5,145	24.5

※平成25年2月1日

3. 目標年（平成27年及び平成32年）の小学校区別男女別1歳刻み人口推計

1) 前提条件

- ① 平成22年の出生率は、基準年から目標年まで変化しないものとする。
- ② 自然増減（死亡）と社会増減は、基準年から目標年まで変化しないものとする。

2) 推計方法

① 目標年と基準年

目標年：平成27年（2015年）及び平成32年（2020年）4月1日

基準年：平成25年（2013年）2月1日

② 対象と単位

対象：男女別1歳刻み人口（0歳～49歳、50歳以上）

年齢区分：0，1，2，3，4，5歳（4月1日現在満年齢）

単位：小学校区別

表 集計単位

小学校区名	区域(町名)
1. 山手	劔谷、奥山、奥池町、奥池南町、山手町、山芦屋町、東芦屋町、西山町、三条町、船戸町、松ノ内町、月若町、西芦屋町、三条南町、上宮川町、業平町、前田町、清水町
2. 岩園	六麓荘町、岩園町、翠ヶ丘町、親王塚町、楠町、(大原町)
3. 朝日ヶ丘	朝日ヶ丘町、東山町
4. 精道	茶屋之町、大榎町、公光町、川西町、津知町、竹園町、精道町、浜芦屋町、平田北町、伊勢町、松浜町、平田町
5. 宮川	打出小槌町、宮塚町、若宮町、宮川町、浜町、西蔵町、呉川町
6. 打出浜	春日町、打出町、南宮町、大東町
7. 浜風	新浜町、浜風町、高浜町
8. シーサイド地区	若葉町、緑町、潮見町
9. 南芦屋浜地区	陽光町、海洋町、南浜町、涼風町

③ 推計方法

男女別1歳年齢別のコーホート変化率法を用いる。

④ 設定値

- ・男女別1歳年齢別変化率

芦屋市の小学校区別の実績値より算出する。

- ・母の年齢別出生率

芦屋市の母の年齢別人口（平成22年国勢調査）と母の年齢別出生数（平成22年）から算出する。

⑤ 推計に用いるデータの資料

- ・住民基本台帳（日本人のみ）の電子データ

→芦屋市の町別男女別1歳年齢別人口

- ・平成22年国勢調査

→芦屋市の母の5歳年齢別人口

- ・平成22年保健統計年報第2節7表

→芦屋市の母の5歳年齢別出生数

3) 定数の設定

① 小学校区別男女別1歳年齢別変化率

芦屋市の小学校区別の男女別1歳年齢人口の平成21, 22, 23, 24年の各年間の1歳年齢別の変化率の平均値を、当該小学校区のコーホート変化率と設定する。

② 母の年齢別出生率

芦屋市の母の5歳年齢別出生数当該年齢別人口より算出する。

表 平成22年芦屋市の母の年齢別出生率

	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳
15～49歳女性人口(注1)	1,869	2,009	2,507	3,228	4,287	3,988	3,569
出生数(注2)	7	31	152	342	266	42	0
出生率	0.00375	0.01543	0.06063	0.10595	0.06205	0.01053	0.00000

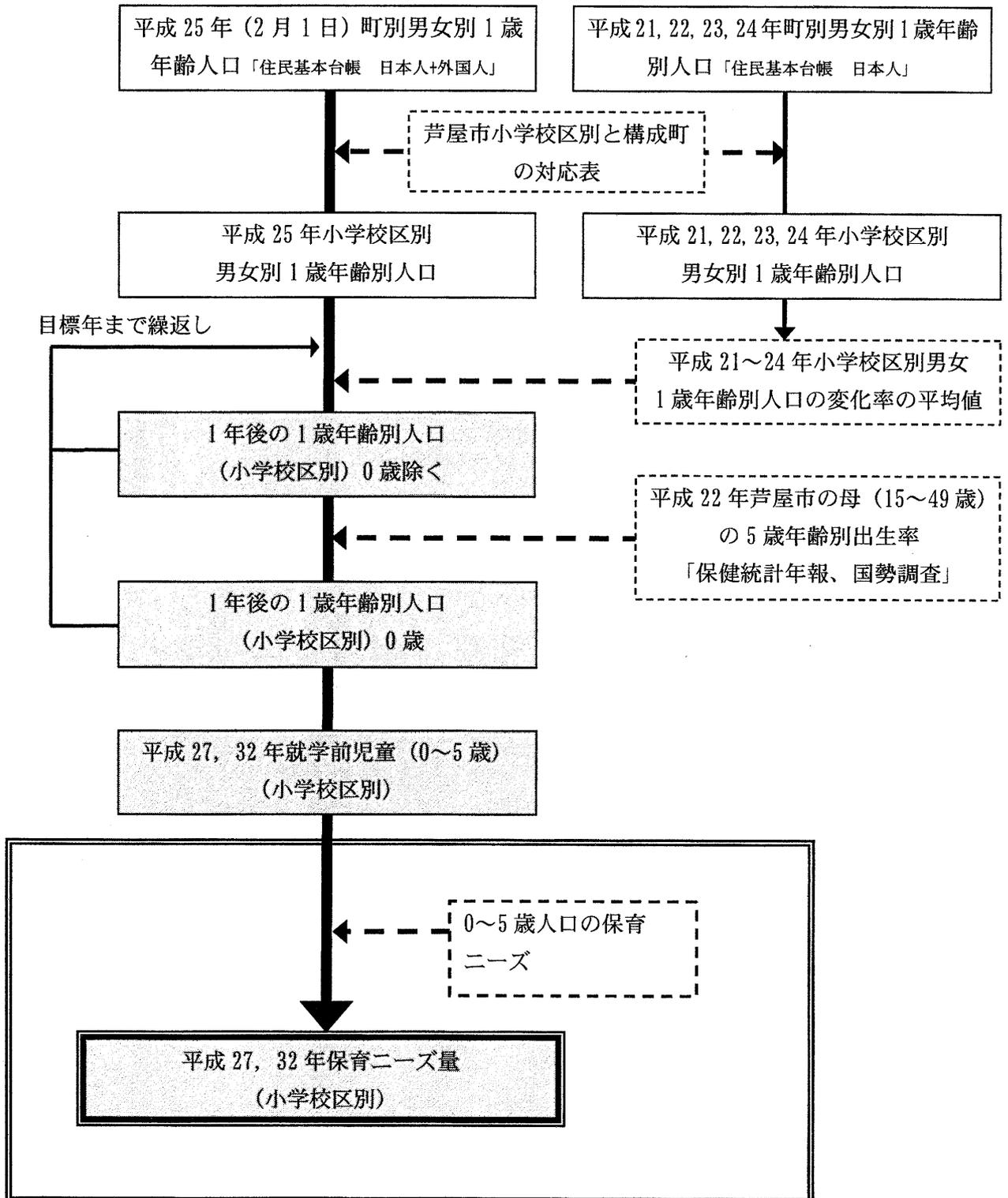
※注1. 平成22年10月1日現在 平成22年度国勢調査

※注2. 平成22年1月1日～12年31日 平成22年保健統計年報 人口動態統計

4) 就学前児童数の将来推計結果

6. 小学校区別将来人口推計結果(10ページ以降)を参照。

図 小学校区別男女別1歳年齢人口推計と保育ニーズ量推計フロー



4. 目標年の小学校区別保育所のニーズ量の推計

- ・将来の保育需要率

入所児童数と待機児童を合計した児童数を総需要量とし、0～5歳児の人口で乗じた値が、保育需要率である。

保育需要率の平成19～24年の平均増加ポイントは1.24/年である。
将来は、当該増加の傾向が続くと仮定すると

○平成27年保育需要率は

$$\text{平成24年保育需要率 (21.8\%)} + 1.24 \times 3 \text{年} = 25.5\%$$

○平成32年保育需要率は

$$\text{平成24年保育需要率 (21.8\%)} + 1.24 \times 8 \text{年} = 31.7\%$$

保育需要率を、当該目標年の0～5歳児の人口に乗じて、ニーズ量を算出すると、芦屋市全体では、平成27年では保育待機児童は304人、平成32年では415人である。

小学校区別で見ると、浜風小学校区とシーサイド地区を除きすべての小学校区で待機児童が発生することになる。

表 将来保育需要量の試算

小学校区	種別	保育所	平成25年2月1日					2015年(平成27年)				2020年(平成32年)						
			①定員	②入所児童(人)	③待機児童(人)	④要保児童数(人)	⑤0~5歳児童(平成25年2月1日)(人)	⑥保育需要率(%)	0~5歳児(人)	保育需要率(%)	要保児童数(人)	入所可能数(想定)(人)	待機児童(想定)(人)	0~5歳児(人)	保育需要率(%)	要保児童数(人)	入所可能数(想定)(人)	待機児童(想定)(人)
1. 山手	私立	山手夢保育園	120	147														
	私立	運美幼児学園芦屋川ナーサリー	30	30			900											
2. 岩園	市立	岩園保育所	60	66			859											
	私立	あゆみ保育園	21	26			493											
4. 精道	市立	精道保育所	90	99														
	私立	さくら保育園	45	55			717											
5. 宮川	市立	打出保育所	90	99														
	私立	芦屋こぼと保育園	30	35			653											
6. 打出浜	私立	夢咲保育園	60	73			627											
	市立	大東保育所	60	66														
7. 浜風	市立	新浜保育所	100	103														
	私立	浜風夢保育園	60	65			266											
8. シーサイド	市立	緑保育所	80	87			207											
	無						423											
9. 南芦屋浜																		
合計			846	951	310	1,261	5,145	24.5	4,922	25.5	1,255	951	304	4,310	31.7	1,366	951	415

注: 調整区域である大原町は岩園小学校区に含めて推計

※将来保育需要率の設定

平成19~24年保育需要率の平均増加ポイントは1.24/年である

平成27年保育需要率: 平成24年保育需要率(21.8%) + 1.24 × 3年 = 25.5%

平成32年保育需要率: 平成24年保育需要率(21.8%) + 1.24 × 8年 = 31.7%

5. 地域別の幼稚園・保育所の適正配置の検討

保育ニーズに対して保育所の受け入れ余地があるのは、浜風小学校区とシーサイド地区であるが、立地が南部地域に偏り、保護者の送り迎えの利便に問題が残る。

既存保育所の柔軟な運営を図りながら、待機児童問題に対応していくとともに他の保育サービスなどとの連携も視野に置く必要がある。

特に、南芦屋浜地区の住宅開発が順調に進めば、多くの0～5歳児の流入が予想され、新たな保育所の導入の検討が必要である。

幼稚園については、市立幼稚園の定員割れが顕著であり、保育所との位置づけの違いを踏まえながら、幼稚園のニーズ量を把握し、適正な配置を検討することが必要である。

6. 小学校区別将来人口推計結果

平成25年2月1日現在を基準年とする将来人口(平成25～32年(2013～2020年))を推計した結果を次のページ以降に示す。